

P2-58-3 腹腔鏡下筋腫核出術における術前 GnRH agonist 投与による子宮筋腫核出率への影響

昭和大

遠武孝祐, 三村貴志, 中林 誠, 瀬尾晃平, 島田佳苗, 青野抄子, 清水華子, 宮本真豪, 飯塚千祥, 石川哲也, 森岡 幹, 関沢明彦

【目的】子宮筋腫の手術の術前に GnRH agonist を投与することで筋腫が縮小することはよく知られているが, 術中に筋腫の確認が困難になり, 取り残しが起こることが危惧される. 特に腹腔鏡下手術では, 触診による探索ができないために, 開腹手術に比べ, 筋腫の確認が難しい可能性がある. 今回, GnRH agonist の術前使用により, 子宮筋腫の取り残しが起こるかを検討した. 【方法】当院で施行した腹腔鏡下筋腫核出術症例 (以下, LM) のうち, GnRHagonist 使用群と未使用群にわけ, 術中に10個以上の筋腫を核出した症例についての核出率を検討した. 核出率としては「実際の核出した筋腫の個数/治療前のMRIの筋腫の個数」とし, すべて同一術者によるものとした. 【成績】対象症例は110症例で, 10個以上筋腫核出した症例はGnRHagonist 使用群が11症例, 未使用群が17症例で, 核出率は前者で170%, 後者で162%, 両者に有意差はなかった. 【結論】GnRHagonist 使用群と未使用群において核出率に差がないため, GnRHagonist の術前使用により筋腫が縮小して見落とされることがないことが示唆された.

**P2-58-4 単孔式腹腔鏡による子宮筋腫核出術の成否に関する検討**藤田保健衛生大坂文種報徳會病院¹, 藤田保健衛生大²
河合智之¹, 塚田和彦²

【目的】単孔式腹腔鏡は整容性に優れている術式とされ近年普及してきているが, 鉗子操作や体内縫合が困難となることから本法による子宮筋腫核出術は難易度の高い術式と考えられる. 今回は, 単孔式腹腔鏡による子宮筋腫核出術 (単孔 LM) の成否について検討したので報告する. 【方法】2009年12月から2011年12月までに実施した239例の腹腔鏡下筋腫核出術のうち, 単孔式腹腔鏡を試みた54例について手術成績を後方視的に検討した. 単孔のポートはSILS port 法かEZ アクセス法で全例気腹法で行っている. 【成績】54例中, 単孔を完遂しえたのは35例 (64.8%) であり, 手術時間, 出血量, 摘出重量はそれぞれ201分, 83.9ml, 159g であった. 19例 (35.2%) は術中にポートを1ないし2箇所追加してLMを完遂し, 成績は210分, 172g, 163g であった. 【結論】単孔式 LM は難易度の高い術式であるが, 症例の選択を慎重に行うことで安全に実施できる術式であると考えられた.

P2-58-5 腹腔鏡下筋腫核出後の仮性動脈瘤が自然血栓化した2症例

倉敷成人病センター

高野みずき, 安藤正明, 柳井しおり, 中島紗織, 福田美香, 海老沢桂子, 藤原和子, 羽田智則, 太田啓明, 黒土升蔵, 金尾祐之

【緒言】子宮仮性動脈瘤は帝王切開後や流産手術等の外的損傷により形成されるが近年腹腔鏡下筋腫核出後の仮性動脈瘤形成の報告があり, 放置した場合重篤な出血が起こる事がある. 当院で1998年から2012年まで腹腔鏡下子宮筋腫核出術 (以下 LM) 1507例の内, 5例 (0.33%) の仮性動脈瘤を経験し, 2例の自然血栓化を経験したので報告する. 【症例1】21歳 0経妊 子宮体部右側壁6cm大筋層内筋腫1個に対しLMを施行した. 手術時間77分 出血量45ml 摘出筋腫115g1個, 術後経過問題なく退院したが, 術後3週の超音波上10mmの仮性動脈瘤を確認した. 仮性動脈瘤破裂の可能性を説明し子宮動脈塞栓術 (以下 UAE) を勧めたが, 本人家族共に経過観察を希望され慎重にフォローした. 術後4週では血流は消失, 術後6週CTでは仮性動脈瘤の血流は消失し血栓化を確認した. 【症例2】41歳 0経妊 子宮体部後壁内に8.3cm大1個, 1.7cm大1個の筋層内筋腫に対しLMを施行した. 手術時間97分 出血量340g 摘出筋腫40g2個, 術後経過は問題なく退院したが術後3週後に超音波上15mm1個の仮性動脈瘤を確認した. UAE 予定であったが術後4週には超音波上10mmと動脈瘤径が縮小, 術後4週3日には7mmとなり血流は消失, 術後5週間目にはCTで血栓化を確認した. 【考察】LM後の仮性動脈瘤症例は破裂のリスクを考慮しUAEを行ってきたが, UAEによる妊孕能の低下も報告されている. 今回の経験により動脈瘤が15mm以下の孤発例である場合十分な informed consent が得られれば経過観察も選択肢となる可能性がある.